

○ 市民会館のこと

現状：市長の考え方

ベイシア建設周辺にドーム型の 1200 人程度収容の施設を作る。駐車場はベイシアと共用使用について協議してあるとのこと。また、候補地は駅周辺、元のところ等の考えもある。建設理由は、子供たち（保育園や幼稚園）のお遊戯会など子供一人に両親祖父母が集まり収用できるところがない。エアリスホールが満杯状態にあること。新市民会館が出来るまでの、つなぎとして 10 億円くらいで民間に作らせて、それを 10 年間借りて使用料を毎年払うシステムとのこと。そこはイベントホールではあるがクラシック等はだめなもの。

私の考え

反対である。

建設するのであれば 1000 台くらいの駐車場確保と 22 万になろうとしている人口であるので、1500～2000 席。クラシック音楽まで聴ける音響まで備えた多目的に使えるもの。しっかりとした 30 年 40 年先まで使えるものをよく考えて、作るべき。

だから時間をかけても良い。それまでは、今、所有の施設を使いきろう。いずれ古くなり建設を求める声が出てくる。それまで待つて作ることが良い。

市民会館と学校の耐震化でどちらを優先させるかの時、私は耐震化を選んだ。子供の命を選んだ。子供や親の利便ではない。

今の財政状況では無駄な箱は作らないが良い。

今までの市民会館論議は、建設をするのであれば、駐車場のこと、駐車台数のことをしっかり考えて、（市民の方の意見多数要望）移転も考慮に入れてと意見は出した。

これが大きい問題の分岐点であると考えたからである。

しかし現在まで議会で議論したのは、市民会館建設調査研究会（中島貞夫委員長）の中で建設地移転についてまでを入れると議論の当初から割れてしまう可能性があるとのこと、後ほど議論したいとの事であった。

「現在の所で建設する場合に限ってまず議論したい」とのことで議論がはじまったと考えている。その中間発表を出した。結果、駐車場の確保が一番大きい問題として残ると論じられた。

建物については良い設計であるとの結論、しかしそれはあくまで元の所に建設された場合を想定してある設計で、駐車場に関しては、はっきりとした確保はいまだ出てきていない。

現在は元のところではない案である。また議論されなかった「移転」が起こる可能性が大いにある訳なので、議題に上らないのはおかしい。市長も議論は終わっているとして押し切るのはおかしい。

市長は、これは市民会館ではない。イベントホール。民間で作らせ借りるのでお金はかからない。市民会館はまた作るとの考え。

太田・新田・尾島・蕨塚合併時に城西地区に合併記念ホール建設なるものがあった。市長は合併後、エアリスや文化ホールがあるので、市民会館はいらないと言って、(予定地案) 一般住宅地を、商業地区に変えた。そして「とりせん」を誘致した。その1年半後に予定地が手狭になってしまったのでホールも出来ないの一般住宅地に変更し60戸の住宅地に変えて販売をしている。

どうせ作るのであればここでよかったのではないか。土地は買ってあったのだから。城西ではなく出身地の九合に持って行くそれだけが目的であり、市民の利便性や将来の都市計画交通網の整備等都市計画は考慮に入れてないのではないか。

通称九合田んぼは、太田市街地の南に位置していて太田市が唯一起こりうる天災(洪水)、出水の遊水池としての機能をしていたところ。ここに遊水池等に対策施設を考えておかないと起こり得ることは今でも想像が出来る。

近隣公園等に巨大地下遊水池を作る計画も取りざたされているが、これはまたビルを地下に作るようなもの。

洪水が出て住民要望が出されたならば、作らねばならない要件となってきます。それには大変費用がかかる。

ベイシア近隣にホールを作るのであれば、先にそこに修景施設等を盛り込んだ遊水施設を作るほうが絶対に安く、よい都市計画が出来ると考えます。